

# 野田さん、まずこれを

民主党の新たな代表が29日、野田佳彦氏に決まった。東日本大震災の被災者は新しいリーダーに何を求めるのか。民主党の国会議員は、どんな基準で投票する人を決めたのか。

▼1面参照



避難所で代表選のニュースを見る被災者。29日午前11時6分、宮城県石巻市の石巻中学校、金川雄策撮影

## 生活支援 ■ 除染 ■ 被災地見て

今も40人以上の避難者が暮らす宮城県石巻市の市立石巻中学校。29日、数人が民主党代表選を伝えるテレビを見ていた。

機械修理業を営んでいた門間春彦さん(55)は自宅兼工場を失い、妻と息子の3人で身を寄せている。「誰が代表になっても大変な時期だが、また足の引っ張り合いになるのだろうか」。

9月には仮設住宅に入れるが、市街地からは遠い。「公共交通機関がなく、買い物にも行けない。新代表は生活支援に力を入れてもらいたい」

岩手県釜石市で写真店を営んでいる菊池賢一さん(41)は「ローン対策だけはやってほしい」と願う。店舗兼自宅を津波で流され、仮設住まい。抱えていたローンは、銀行との交渉で1年間は利息分だけで済むようになったが、それも義援金や生活再建支援金から上面するしかない。仮設店舗に入れるのは11月ごろ。スタジオを作り、機材をそろえるにも資金が必要だ。銀行からさらに借りられるのか。不安はつきな

い。

同県大船渡市の主婦川原ミノルさん(83)は「とにかく福島第一原発を何とか収めてほしい」。津波で自宅を失った。それでも、5月に仮設住宅に入って一息つくると原発のことが気になり始めた。「もっと苦しんでいる人のことを思うとつらい」

その福島第一原発がある

福島県双葉町の高田良克さん(67)は妻(62)と、同県猪苗代町のホテルで避難生活を続けている。自宅は原発から約4・5キロ。27日になって、菅直人首相は原発周辺では長期間住めなくなる地域が出ると言いついた。

「辞める直前に、無責任だ」と憤る。「新代表は被災者に一方的に告げるだけじゃなく、計画をしっかりと説明すべきだ」

福島市でも放射線量が比較的高い渡利地区。世帯ごとに避難を促す「特定避難勧奨地点」の対象にすべきかどうか測定が進む。7月、住民らによる通学路や側溝の除染が行われ

た。パート従業員の木村恵さん(39)は「除染は1回したからといって、安全とは言えない。近所の人だけでは限界がある。作業する人の健康も心配だ。政府は業者を派遣して」と求め

る。まずは現状を知ってほしいという思いは、どの被災地にも共通だ。仙台市若林区の松木あきのさん(76)は津波で自宅を流された。今も一帯にがれきが残り、復興の道筋は見えない。

「次の人はまず、被災地にきてほしい。現地を見れば、どんな政策が必要か、分かってくるのではないか」

## 議員の選択 そのわけは

### 小沢氏の支持 ■ 東北出身者を

東京都千代田区のホテルで開かれた両院議員総会で午後2時半過ぎ、選挙管理委員長の古賀一成衆院議員が決選投票の結果を読み上げた。新代表が野田氏に決まると、会場はどよめきと拍手に包まれた。

各陣営は、総会の直前まで支援する議員の支持を訴えた。開会20分前、野田氏の推薦人になった柴橋正直氏(衆院岐阜1区)は「今も

横で仲間が電話をかけ続けている」と電話取材に答えた。野田氏支持の国会議員は午前8時に集まり、「最後まで呼びかけ続けよう」と誓い合ったという。馬淵澄夫氏の元秘書の大西健介氏(衆院愛知13区)は朝から、馬淵氏支持の議員が手書きのメッセージを寄せたチラシを、1期生議員の議員会館の事務所に配った。「派閥やグループにとらわれないで代表選をや

区)も海江田氏に投票する。「菅政権時代のよう」に、党員の意見を聞かず独断で方針を打ち出す政治は駄目だ。その路線を踏襲する政治家では党内融和は出来ない」と話した。

阿知波吉信氏(衆院岐阜5区)は、27日に地元であった党の総支部の定期大会で前原誠司氏の支持を表明した。「これからは思い切った政策ができる実行力のある人が必要。海外でも高い評価を受けている前原氏が、最も総理候補の条件を整えている」

鹿野道彦氏の決起集会に参加した舟山康江氏(参院山形選挙区)は「次の内閣は東北の復旧復興に取り組まなければならない。東北を復興させる意味でも東北出身の総理を誕生させた」と話す。

代表選への出馬がとりざたされていた樽床伸二氏のグループは事実上、自主投票になった。長尾敬氏(衆院大阪14区)は、野田氏への投票を決めた。「樽床氏を拒げなかったことは非常に残念。気持ちを切り替えた」と話す。

原発の賠償紛争 解決拠点が開設

福島第一原発事故の損害賠償をめぐる東京電力と被害者らが合意できず、易